Everything Eater

Start the announcement

2020/11/07 本城佳樹

- ・ (再掲) 中間発表の内容
 - ・テーマ
 - ゲームの説明
- •独自性
- こだわりのプログラム
- 開発スケジュール
- 使用素材・アセット
- ・まとめ

- ・ (再掲) 中間発表の内容
 - ・テーマ
 - ゲームの説明
- •独自性
- こだわりのプログラム
- 開発スケジュール
- 使用素材・アセット
- ・まとめ

(再掲)何を作ろう?(1/2)

- 「あつめる」「大きくなる」は楽しい
- ある程度いい加減なゲーム
 - ・「詰み」を許す
 - 何でもかんでも無茶苦茶を許す



作りやすい2Dで

「技術ドリブン」ではなく「作りたいものドリブン」

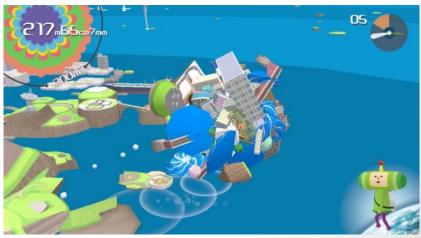
これでゲームを作ろう

(再掲)何を作ろう?(2/2)

- 「あつめる」や「大きくなる」
 - → 塊魂・Hole.io
- できなかったことができるように
- 予想外の結果

楽しい・おもしろい





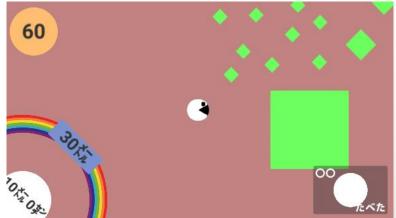
- ・ (再掲) 中間発表の内容
 - ・テーマ
 - ・ゲームの説明
- •独自性
- こだわりのプログラム
- 開発スケジュール
- 使用素材・アセット
- ・まとめ

(再掲)作ったゲーム

Everything Eater

ゲームシーン上のもの「すべて」食べられる 食べることで大きくなっていく 時間内に目標の大きさになることを目指す 最終的にはゲームのマップや壁まで……





ゲームサンプル



(再掲)苦労したこと

- プレイヤの挙動
 - コライダ方向に入力を続けると反転を繰り返す
- · 分裂 · 合体機能
- すべてを「たべる」ということ
 - 分裂したプレイヤーも食べたい
- カメラやUIが「どの」プレイヤを追うか?
 - プレイヤを食べられるようになった副作用
- ・機能別にスクリプトを分けすぎた……
- 上手に設計しようとして未使用のスクリプトが 生まれた

- ・ (再掲) 中間発表の内容
 - ・テーマ
 - ゲームの説明
- •独自性
- こだわりのプログラム
- 開発スケジュール
- 使用素材・アセット
- ・まとめ

独自性 (1/3)

分裂

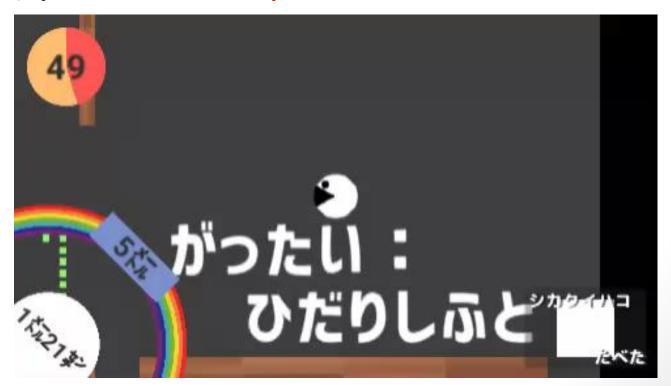
- スペースキーで分裂
 - 自機が増えることで「食べる」効率あっぷ!
 - いっぱい増えて楽しい



独自性 (2/3)

<u>合体</u>

- L-SHIFTで合体
 - ・増えた自機を一瞬で吸収
 - 一気に大きくなり楽しい



独自性 (3/3)

すべてを「食べられる」

ステージのアイテムだけ でなくテキストも



「食べられる」

• 分裂した自分自身さえも



- ・ (再掲) 中間発表の内容
 - ・テーマ
 - ゲームの説明
- •独自性
- こだわりのプログラム
- 開発スケジュール
- 使用素材・アセット
- ・まとめ

こだわりのプログラム(1/3)

Playerクラス

シーン上の「一番大きいプレイヤー」を見つけるクラス

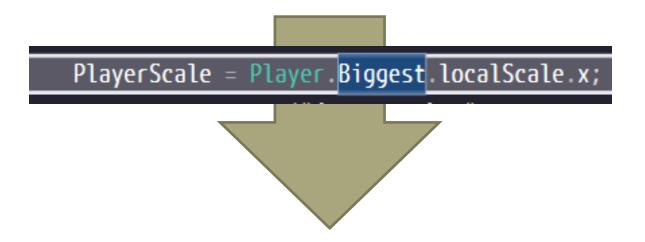
- Biggestプロパティ
- BiggestSizeプロパティ
- IsMainPlayerメソッド

```
public static Transform Biggest
{
    get
    {
        var players = new List<GameObject>();
        players = GameObject.FindGameObjectsWithTag("Player").ToList();
        return players.OrderByDescending(p => p.transform.localScale.x).First().transform;
    }
}
```

こだわりのプログラム(2/3)

Biggestプロパティ

「一番大きいプレイヤー」のトランスフォームを返す



UI等で扱いやすくなる

こだわりのプログラム(3/3)

GameDirector クラス

シングルトンパターンで実装

- ステージの情報(制限時間・目標サイズ)を返す
- DontDestroyOnLoad()シーンチェンジで消えない



```
ゲームオーバーシーン
に
情報を渡したいから
```

```
public void Awake()
{
    if (this != Instance)
    {
        Destroy(this.gameObject);
        return;
    }

    DontDestroyOnLoad(this.gameObject);
}
```

- ・ (再掲) 中間発表の内容
 - ・テーマ
 - ゲームの説明
- •独自性
- こだわりのプログラム
- 開発スケジュール
- 使用素材・アセット
- ・まとめ

開発スケジュール

10月26日~11月12日 計18日 バージョン管理には「Github」利用

日時	行ったこと
26,27日	ゲーム企画
28日~2日	ゲームの基本機能実装
3,4日	「分裂」「合体」実装
5日~9日	シーン作成 (タイトル、ゲームオーバー)
10日	チュートリアルステージ作成
11日	ゲームバランス調整
12日	発表用資料作成

- ・ (再掲) 中間発表の内容
 - ・テーマ
 - ゲームの説明
- •独自性
- こだわりのプログラム
- 開発スケジュール
- 使用アセット
- ・まとめ

使用アセット

Cinemachine

- プレイヤーがどれだけ分裂しても一つのカメラに収める
- ・自然に追従する

Post Processing Stack v2

• タイトルを「それっぽく」するために

VignetteとGrainを使用

Vignette

中心よりも周囲のほうが暗く

Grain

ノイズ



- ・ (再掲) 中間発表の内容
 - ・テーマ
 - ゲームの説明
- •独自性
- こだわりのプログラム
- 開発スケジュール
- 使用アセット
- ・まとめ

まとめ(1/2)

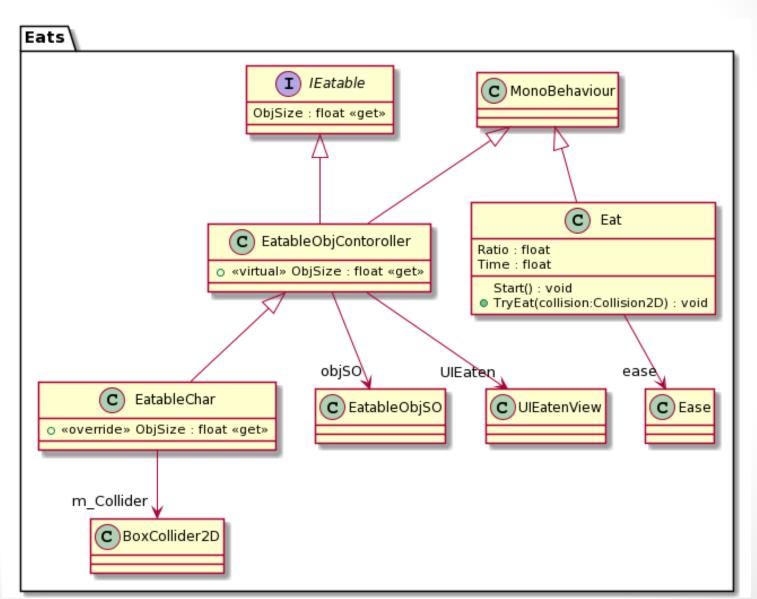
- 「モチベーション」の話
 - 趣味ならばやりたいこと重視でよい
- プログラムの「設計」の難しさ・大切さ
 - ・拡張性の高さ
 - ・感覚的な話
 - SOLID原則
- 「完成させること」の大切さ
- 「企画」の大切さ

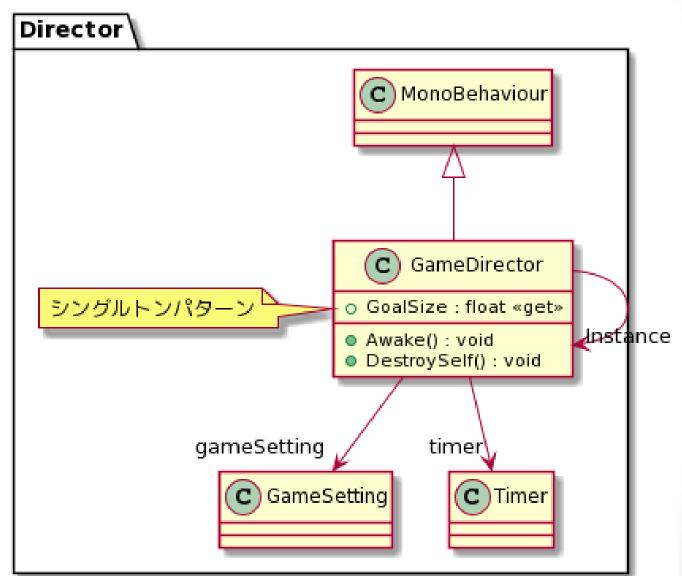
まとめ(2/2)

- 得意不得意・向き不向き
 - 「やってみる」ことでわかる
- ・世に出ている「ゲームバランス」の妙
 - パラメータ調整
 - ・レベルデザイン
 - 演出 (SE・モーション)

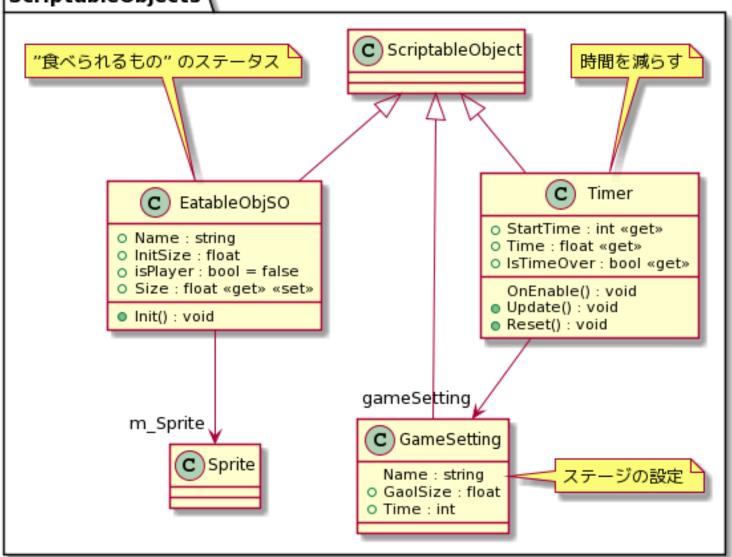
ゲームを作るのは楽しい!!

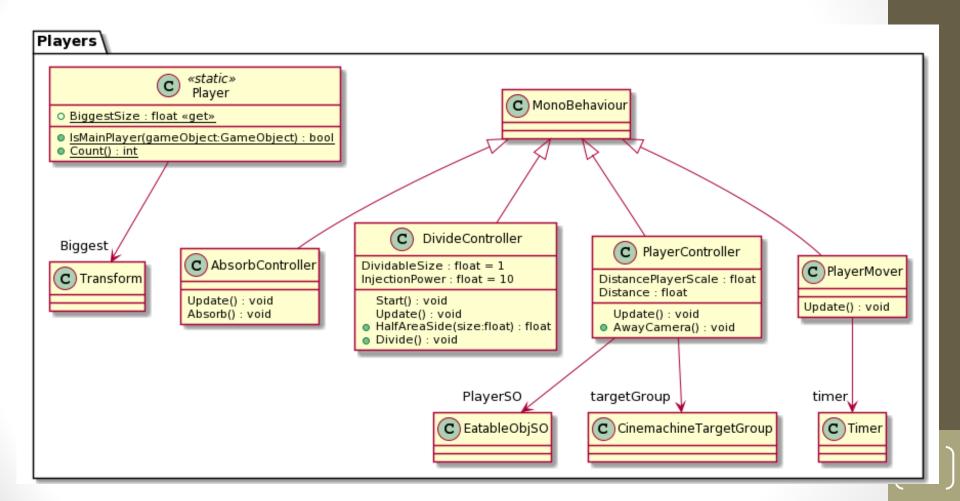
以上です

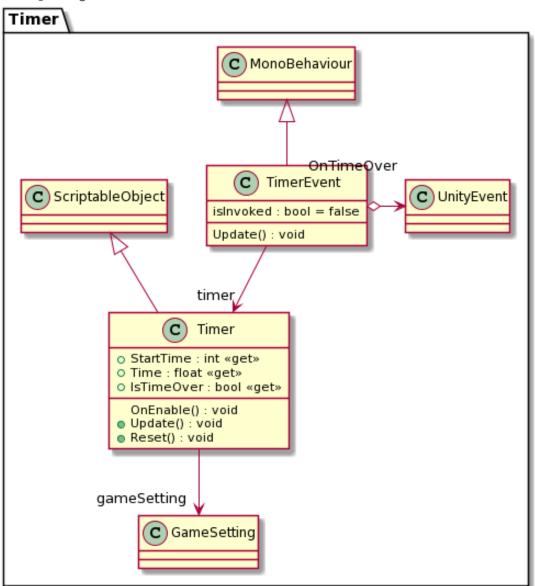




ScriptableObjects \







やりたかったこと

- SEをつける
- 徹底したBUG取り
- プログラム設計しなおし
- ・ステージづくり
- ・クリア判定
- アニメーション
- ・エフェクト